

平成27年9月関東・東北豪雨 危険物施設の被災記録

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部

災害時の気象状況

○平成27年9月9日から11日にかけて、台風18号及び台風から変わった低気圧に向けて南から流れ込む湿った風の影響により、多数の線上降水帯が次々と発生し、関東地方と東北地方で記録的な大雨となった。



常総市内の浸水域



常総市の被害状況 1

○人的被害(平成28年6月3日現在)

被害状況	常総市(件)
死亡	2
重症	3
中等症	21
軽症	20

常総市の被害状況 2

○住宅等被害(平成28年6月3日現在)

被害状況	常総市(件)
全 壊	53
大規模半壊	1, 581
半 壊	3, 491
床上浸水	150
床下浸水	3, 066

鬼怒川堤防決壊現場上空 (9月10日 17時頃)



鬼怒川堤防決壊現場 (9月10日 16時35分)



鬼怒川堤防決壊現場（9月10日 17時頃）



常総市石下中学校付近（9月10日 13時19分）



常総市相野谷町相平橋付近 (9月11日 5時44分)



常総市役所駐車場付近（9月11日）



常総市内の危険物施設の被害状況

施設の種類別	地区	旧水海道地区		旧石下地区		合計
		被害施設数	被害内訳	被害施設数	被害内訳	
屋内貯蔵所				1	防火戸変形1	1
屋外タンク貯蔵所		3	浮上1 横ずれ1 傾斜1	6	ポンプ水損6	9
地下タンク貯蔵所		1	液面計水損1	1	ポンプ水損1	2
移動タンク貯蔵所		3	水損3	6	水損6	9
給油取扱所		8	地盤・防火堀損壊1 計量機水損6 POS水損1	3	計量機水損3	11
一般取扱所		3	計量機水損1 ポンプ水損2	2	計量機水損2	5
合計		18		19		37

(1) 屋外タンク貯蔵所



油槽所の周辺（9月12日 県防災航空隊撮影）



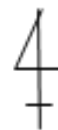
油槽所の上空（9月12日 県防災航空隊撮影）



油槽所西側全景（9月14日 常総広域消防本部撮影）



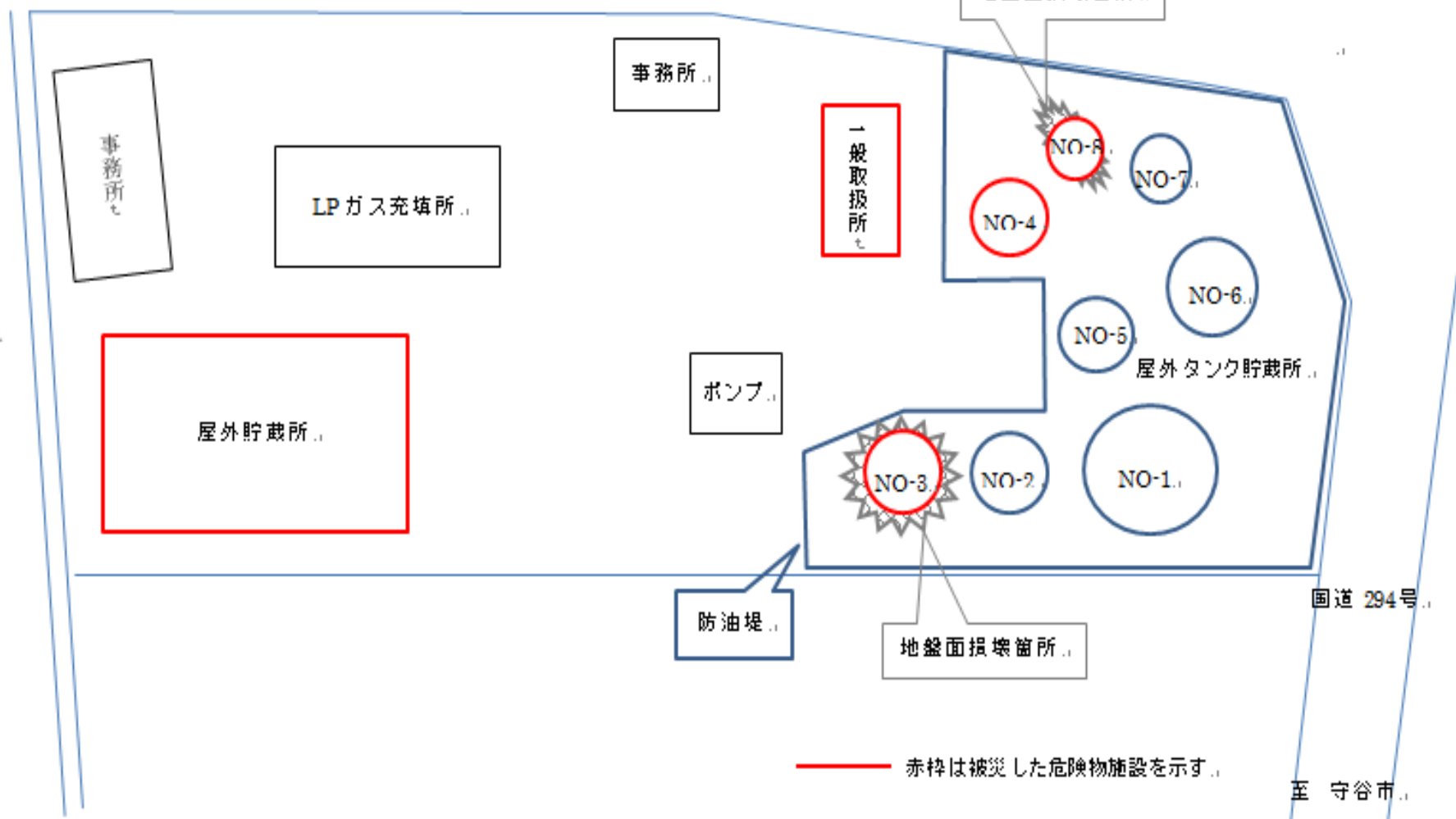
S石油(煤)油槽所 配置図



至 坂東市

国道 354号

至 下妻市



屋外タンクの最高水位跡 (9月14日 常総広域消防本部撮影)

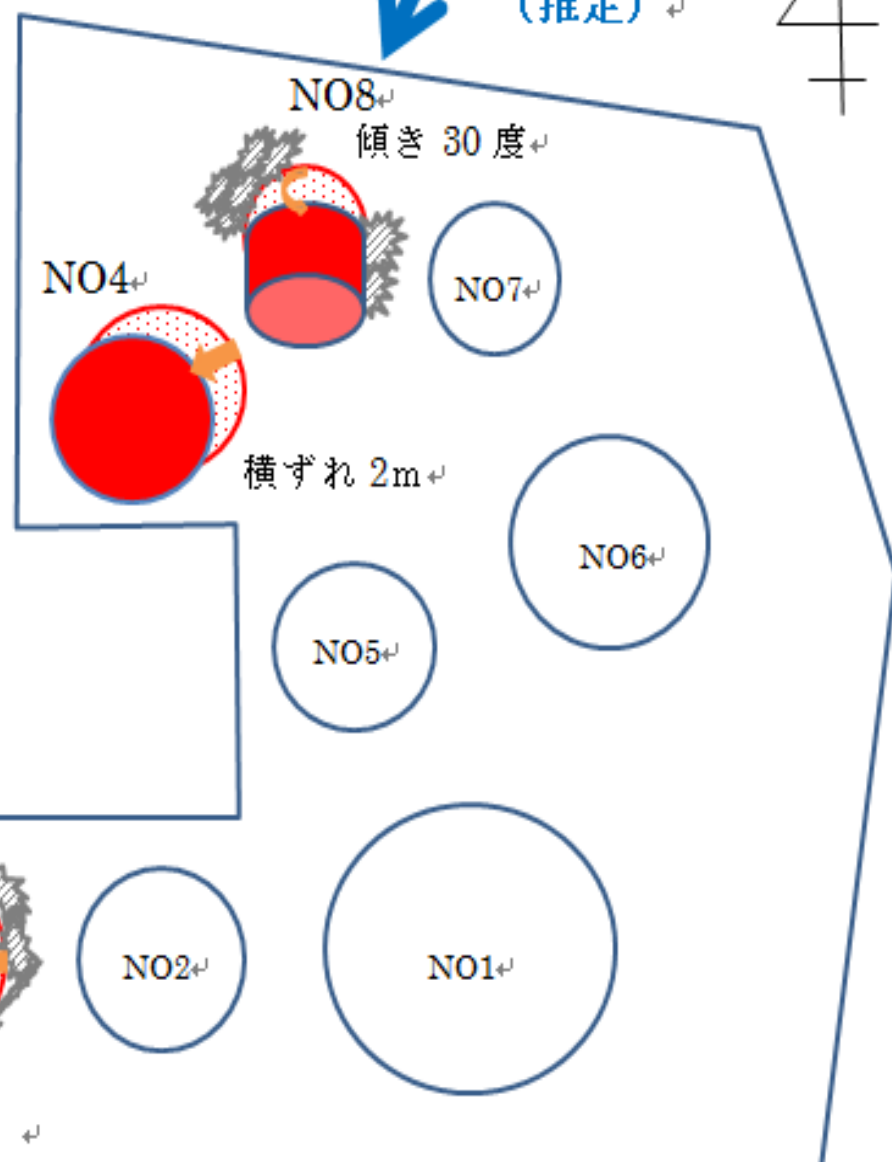
最高水位 地盤面より約2.5m



屋外タンク事故状況

水の流れ
(推定)

タンク NO	タンク容量 (KL)	貯蔵量 (KL)	アンカ固定 有無
8 (Rガソリン)	49	1	無
4 (Hガソリン)	100	14	無
3 (Hガソリン)	188	1	有



No3タンクの浮上状況（9月14日 常総広域消防本部撮影）



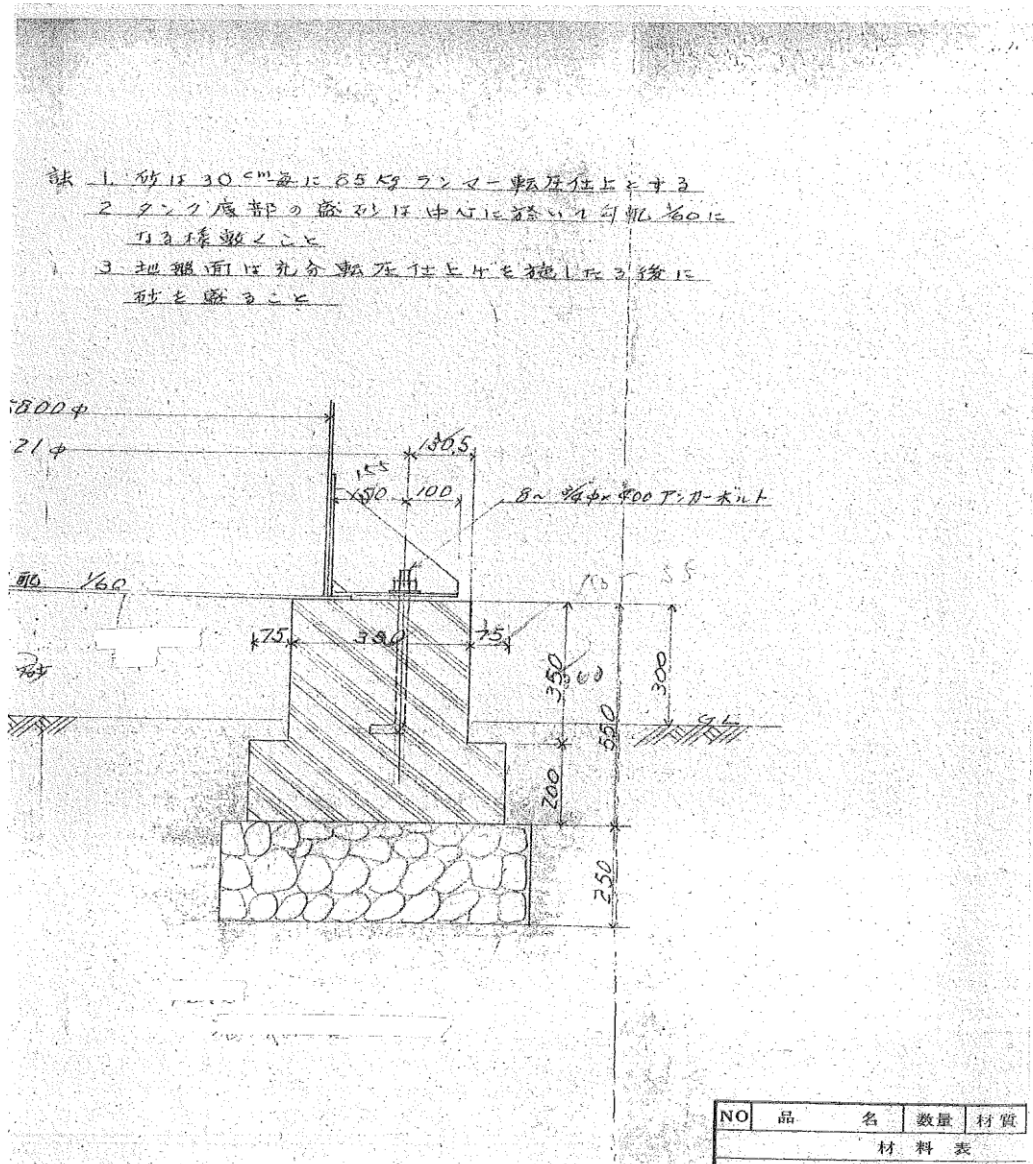
No3タンク東側の地盤面損壊状況 (9月14日 常総広域消防本部撮影)



No3タンク西側の地盤面損壊状況 (9月14日 常総広域消防本部撮影)



浮上タンクの固定状況



No4タンクの横ずれ状況（9月14日 常総広域消防本部撮影）



No4タンクの横ずれ状況 (9月14日 常総広域消防本部撮影)



No4タンクの横ずれ状況（9月14日 常総広域消防本部撮影）



No8タンクの傾斜状況（9月14日 常総広域消防本部撮影）



No8タンクの傾斜状況（9月14日 常総広域消防本部撮影）



No8タンクの傾斜状況（9月14日 常総広域消防本部撮影）



No8タンクの傾斜状況（9月14日 常総広域消防本部撮影）



事故後の措置事項

- 1 施設の点検（屋外タンク5基は異常なし）
- 2 屋外タンク3基の残油抜き取り、清掃、撤去
- 3 同タンク損傷配管の分離、撤去
- 4 昇降階段の設置（No2タンク）
- 5 防油堤損傷箇所への補修

事故後の措置事項

- 6 ポンプ設備（モーター）、電気設備（制御盤等）、消火設備（ポンプ等）の整備、取替え

S石油(株)新井木油槽所 危険物施設一覧

施設区分	タンク No	設置許可年月日	完成検査年月日	危険物の類、品名、最大数量 【危険物の比重】	倍数	タンク内径 (mm)	タンク高さ (mm)	タンク(空)自重 (kg)	タンク基礎の高さ (mm)	アンカボルトの有無	打設状況	水害時の貯蔵量 (KL)	タンク本体、配管、設備等の被害状況	流出の有無	備考
一般取扱所 (充填)		昭和43年8月17日	昭和43年11月29日	第4類 第1石油類(ガソリン)40,000ℓ 第2石油類(灯油、軽油)150,000ℓ 第3石油類(重油)10,000ℓ	355								ポンプモーター、制御盤 エンジンポンプ水損	無	
屋外タンク 貯蔵所(準特定)	1	昭和49年5月30日	昭和49年11月28日	第4類 第2石油類(灯油)967,000ℓ 【0.7907】	967	9,670	13,700	28,000	300	有	16箇所	190	なし	無	旧基準の準特定屋外タンク貯蔵所、経過措置期限は、平成29年3月31日 構造計算書あり
屋外タンク 貯蔵所	2	昭和49年5月30日	昭和49年11月28日	第4類 第1石油類(ガソリン)188,000ℓ 【0.7238】	940	5,800	7,620	10,500	230	有	8箇所	100	なし	無	レギュラーガソリン 構造計算書あり
屋外タンク 貯蔵所	3	昭和49年5月30日	昭和49年11月28日	第4類 第1石油類(ガソリン)188,000ℓ 【0.7238】	940	5,800	7,620	10,500	230	有	8箇所	1	タンク基礎浮上、配管変形(注入、送油、消火)、歩廊橋破損	無	レギュラーガソリン 構造計算書あり
屋外タンク 貯蔵所	4	昭和43年8月17日	昭和43年11月29日	第4類 第1石油類(ガソリン)100,000ℓ 【(注1)不明】	500	5,800	4,580	5,745	270	無		14	タンク横ずれ、配管変形(注入、送油、消火)、歩廊橋破損	無	ハイオクガソリン 構造計算書あり
屋外タンク 貯蔵所	5	昭和43年8月17日	昭和43年11月29日	第4類 第3石油類(重油)100,000ℓ 【0.8662】	50	5,800	4,580	5,745	260	無		50	なし	無	A重油 構造計算書あり
屋外タンク 貯蔵所	6	昭和43年8月17日	昭和44年2月14日	第4類 第3石油類(軽油)300,000ℓ 【0.8238】	300	7,650	7,680	10,980	230	無		150	なし	無	構造計算書あり
屋外タンク 貯蔵所	7	昭和43年8月17日	昭和44年2月14日	第4類 第3石油類(重油)49,000ℓ 【0.8709】	24.5	3,495	6,048	3,717	230	無		25	なし	無	ローサル重油1号 構造計算書なし
屋外タンク 貯蔵所	8	昭和43年8月17日	昭和43年11月29日	第4類 第1石油類(ガソリン)49,000ℓ 【(注1)不明】	245	3,495	6,048	3,717	260	無		1	タンク傾斜、配管変形(注入、送油、消火)、歩廊橋破損	無	ハイオクガソリン 構造計算書なし
屋外貯蔵所		昭和60年9月30日	昭和60年12月4日	第4類 第3石油類(非水溶性)6,400ℓ 第4石油類 39,000ℓ	9.7								空ドラム缶の流出	無	

※赤字は、被害施設を示す。

(注1)大分以前に入荷したもので、比重関係の資料なし